

モーツァルト室内管弦楽団

第161回定期演奏会

〈モーツァルトとハイドン〉その8

◆モーツァルト *W.A.Mozart (1756-1791)*

《救われたベトゥーリア》K.118 序曲

ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K.466

ピアノ:岡田 佳子

オッフェルトリウム《主のお憐みを》二短調 K.222

キリエ 二短調 K.341

◆ハイドン *J.Haydn (1732-1809)*

《ネルソン・ミサ》三短調

ソプラノ:木村能里子 アルト:山田 愛子

テノール:西垣 俊朗 バス:萩原 寛明

合唱:モーツァルト記念合唱団(合唱指揮:益子 務)

指揮◆門 良一

開演10分前より指揮者によるプレトーク有

ピアノ◆岡田佳子

Wolfgang Amadeus Mozart und Joseph Haydn



ソプラノ:木村能里子 アルト:山田 愛子 テノール:西垣 俊朗 バス:萩原 寛明



2014.

12/20(土) いずみホール

2:00pm開演(1:30pm開場)

入場料:一般 ¥5,000(指定席)/学生 ¥1,000(当日限定数発売) *小学生よりご入場いただけます。

第150回定期演奏会
モーツァルト「大ミサ曲」八短調
2012年12月2日 いずみホール

JR環状線「大阪城公園」駅から3分、「京橋」駅から7分、
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から5分。
有料駐車場完備

主催◆モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.moz-kam.org>

協賛◆いずみホール(一般財団法人住友生命福祉文化財団)

マネジメント◆大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503/FAX06-6135-0504 〒530-0041大阪市北区天神橋2-5-25-909 e-mail:artists@gol.com

前売

大阪アーティスト協会 050-5510-9645(電話受付:平日10~18時) いずみホール 06-6944-1188

ローソンチケット 0570-084-005(Lコード:56741)

*大阪アーティスト協会は世界の子どもたちの未来を支える大阪ユニセフ協会に賛同し、コンサート会場で募金活動等を行いながら、音楽を通して少しでも社会に貢献できるような取り組みを続けています。皆様のあたたかいご支援ご協力をお願い申し上げます。



〈モーツァルトとハイドン〉その8 一二短調の作品を集めて一

モーツァルトとハイドンはともに18世紀を代表する大作曲家でありながら、24歳という年齢差を越えて互いに尊敬し合い影響を与え合ったという点で、音楽史上稀有な存在である。モーツァルト室内管弦楽団はモーツァルトを最重要レパートリーとしているが、創立間もない時期からハイドン作品をも演奏してきており、近年は二人の作品の中から何らかの意味で関連のあるものを選んで比較演奏する〈モーツァルトとハイドン〉というシリーズを続けている。この演奏会では、ハイドンの宗教音楽の最高傑作《ネルソン・ミサ》を中心に、モーツァルトとハイドンの二短調の作品を集めたプログラムとした。

モーツァルト室内管弦楽団／指揮：門 良一 *Mozart-Kammerorchester Japan / Ryoichi Kado, Dirigent*

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、40数年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的プロ室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで、90年からは大阪いづみホールを本拠として年6回の定期演奏会を開催。また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に17回を数えている。海外では88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス(85、87年)、シブリアン・カツァリス(93、94年)、ペーター・ダム(83、86、88、98、00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル(86年)、ライナー・キュッヒル(90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲等で活発に協演する他、93年には堺シテリオペラの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。07～09年全10回にわたる〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、09～11年全18回にわたる〈創立40周年シリーズ〉を、また10年からは〈ベートーヴェン・シリーズ〉を開催している。

岡田佳子●ピアノ *Yoshiko Okada, Piano*

15歳で渡仏。パリ・エコール・ノルマル音楽院を経て、ロンドンでマリア・クルチョ、スイスでニキタ・マガロフ、バルセロナでアリシア・デ・ラローチャの諸氏に師事。83年大阪でのデビューリサイタルを皮切りに国内外で演奏活動を始める。91年3月からワルシャワ・チェンバーオーケストラ等とアメリカ、カナダ、ヨーロッパ各地での演奏ツアーの他、各地の音楽祭に出演。91年11月にはカーネギー大ホールでのリサイタルで成功を収め、その後も93、96、97年同ホールでの演奏会は超満員の盛況を続けた。95年夏、第1回OKADAフェスティバルをポーランドのザコパネで開催。以後毎年各地でフェスティバルを続けている。また大阪でのリサイタルをはじめ、夫であるフルーティスト、グレゴリー・チモシュコとのデュオコンサートを東京、大阪、ニューヨーク、ワルシャワ等で開催するなど積極的な演奏活動を展開している。現在、ブリュッセルに在住し、政府公認の「モーツァルト音楽院」を開設し後進の指導にも力を注いでいる。近年はウィーンにてバウル・バドゥラ=スコダ氏のもとでモーツァルトの研究を続けている。CD録音も数多く、ワルシャワ・チェンバーオーケストラ、アマデウス・チェンバー、ポーランド国立放送交響楽団とのモーツァルトのピアノ協奏曲シリーズ5枚がポニーキャニオンから、その他、フランス・アルバム、モーツァルトのソナタ集、OKADAフェスティバル「ブリュッセル2003」のライヴ録音、近年はウィーンのグラモラよりモーツァルト、ベートーヴェンのピアノ曲集が発売されている。

モーツァルト記念合唱団(合唱指揮：益子 務) *Mozart Choral Ensemble (Chor-Dirigent: Tsutomu Masuko)*

1991年にモーツァルト室内管弦楽団の要請を受け特別編成された合唱団。女声は若手プロを中心に、男声は合唱王国関西の著名合唱団の指揮者、パートリーダーに参加を要請、1991年7月に益子務氏の指揮のもと発足、同年12月モーツァルト没後200年を記念してモーツァルト室内管弦楽団第48回定期演奏会で「レクイエム」を協演後、毎年協演を重ねる。93年初の単独自主公演でジャニーヌ・ワグナー氏を客演指揮者に迎え、「ロジェ・ワグナー・メモリアルコンサート」を開催。98、2000年ベルギー・フランドル政府の招きで文化交流使節として2度にわたりベルギー演奏旅行を行い、ブリュッセルのサン・ミシェル大聖堂での演奏、FM-3での放送などで大成功を収めた。2000年設立10周年記念にCD「ロッシェニ小荘厳ミサ」をリリース。2010年には神戸で行われた日本音楽療法学会での大会長公演、2011年モーツァルト室内管弦楽団との合唱団創立20周年記念コンサートに引き続き、2012年には合唱団の自主公演として20年の歩みを記念したコンサートをいづみホールで開催。